

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・3月に始まった博覧会が盛況で、春休みにはかなりの動員をみた。その影響で商店街もにぎわい、週末を中心に国内外から多くの観光客が来ている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・競合店の出店で客数は前年割れが続いているが、客単価は上昇しており、買上点数も増加している。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・暖かく日脚が延びたこともあって、夕方以降の販売量が回復傾向にある。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・全国的に販売量が前年を上回って推移している。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が増加し、単価も若干上昇している。少し財布のひもが緩んでいると感じている。
		旅行代理店（営業部長）	来客数の動き	・クルーズ船の就航などから訪日外国人客が増加しており、活性化しつつある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・春のお遍路シーズン到来で、前年より少ないものの、遍路の仕事が徐々に増えている。街の状況はあまり良くない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・2～3か月前より来客数は順調である。前年と比べても若干良い。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・商店街は多くの人でにぎわい、活気が感じられる。暖かくなって消費マインドは上昇しているが、アパレル関連の低迷は続いている。高級宝飾品やメガネ等は実店舗で購入する安心感が得られるからか、前年末から大変好調に推移している。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・新規客はいない。家庭向け商品の動きもほとんどない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・高額品は引き続き堅調。桜の開花が遅れるなど前半の気温低下が、衣料品や食品の売上にマイナス影響となり、特に衣料品は厳しい状況が続いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・業績が上向いているのは企業努力と好天に恵まれたこと。景気が良くなっているわけではない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・季節の変わり目である4月は、本来なら好調なのだが、あまり伸びていない。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・春物商材の動きが上向き、気候も中旬から安定しているの、売上はやや前年を上回って推移している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・単価は下落傾向にあるが、販売量は横ばいあるいは微増程度。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4月の新車受注状況は、前年並みで推移している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・会計年度末の3月需要が過ぎ、4月は例年通り横ばい。前年からの新型車効果も落ち着き、ゆっくり車選びをしているように見える。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・宿泊も、地元の宴会や昼食等で利用は増えているが、景気が良くなっているわけではない。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・売上も乗車率も、あまり変化はない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年4月は販売数が少なく、前年と同様で大きな変動はない。
		通信会社（支店長）	来客数の動き	・新年度に入ったが、特に目立った動きは感じられない。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・入場者は60歳前後の人が多く、若者や子供連れの若年層はほとんど見ない。年金受給者層が主力のため、利用、投票券の購入金額も抑え気味で、売上の伸びは見込めない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・繁忙期が過ぎて落ち着いている。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・建設会社は、前年後半から手持ちの工事ではほとんどいっぱい状態が続いている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・繁華街の人通りが少ないことが、店頭に来店数にも影響している。その一方、インターネットや企業からの注文は増えている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新学期の参考書の販売が、前年を下回っている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来店客の状況は変わっていないが、競争のあおりで客単価が減少している。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・競合店の出店・改装の影響を大きく受けている。加えて、不漁のため魚部門が非常に悪い。

	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・地方の景気は良くなっていない。街中で買物する客はかなり少ない。当店は顧客ばかりで一般客が少なく、客単価も上がらない。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・軽自動車届出ペースは前年を上回っているが、4月は来店数が少なく、受注も少ない。
	その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	来客数の動き	・4月下旬に競合店がオープンし、来店客数が少ないと感じている。
	通信会社(営業 部長)	来客数の動き	・3か月前は来客数が月初から月末にかけて増加傾向だったが、今月は減少傾向にある。
x	一般小売店[乾 物](店員)	販売量の動き	・大型ショッピングモールがオープンし、当店では閑古鳥が鳴いている。
x	コンビニ(店 長)	販売量の動き	・4月中旬までは前年並みに推移していたが、その後売上伸び悩み、結局のところ前年割れとなった。
企業 動向 関連	-	-	-
(四国)	建設業(経営 者)	競争相手の様子	・年度末を過ぎたこの時期は例年、景気が良くなる。今年が例年以上に良いのは、国・自治体の公共事業発注量が安定している効果だと考えられる。
	繊維工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・地方の小売店は単価の安いものを中心に売れており、全体的にデフレ傾向が進んでいる。都市部では単価が高くても売れているものもあるが、消費マインドが強いとは思わない。
	木材木製品製造 業	受注量や販売量 の動き	・4～5月は売上・生産高共に前年同月実績を上回る見込み。
	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・新商品も少しずつ売上を伸ばしているが、大きな差はない。
	鉄鋼業(総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・造船関連の受注量が2か月連続で増加するも、依然として低水準。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・再生エネルギーを中心に営業を展開している。今回、大型物件を2件続けて受注できたので短期的には景気は良いが、長期的にみると変わらない。小さな物件は受注が少ない。
	電気機械器具製 造業(経理)	受注量や販売量 の動き	・出荷量は3か月前より数%増えているものの、最終消費者の需要に大きな変動は認められない。販売会社等の流通在庫の変動とみている。実需に特段の変化は無く、堅調に推移している。
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・公共工事も民間工事も多少は受注できたが、まだまだ年間の予定には足りない。
	輸送業(経営 者)	取引先の様子	・世界情勢に不安を感じる。
	輸送業(営業)	受注量や販売量 の動き	・小口積合せ貨物は月半ばから物量が増加し、取扱量も堅調に推移した。物量が増えたのは大型連休の特需を見込んだ一時的なもので、臨時便を増発して対応したが、このようなことは前年末の繁忙期には見られなかった。特筆すべきは、引越し貨物の取扱物量の増加である。その要因は競合業者が人手不足等を理由に、極端に受託を控えている影響だと考えている。
	輸送業(支店 長)	それ以外	・燃油価格の高騰により、燃料費が増加している。
	金融業(副支店 長)	取引先の様子	・取引先企業の資金需要動向に大きな変化はない。業種によってバラつきは見られるが、12月期決算の企業業績はおおむね前年並みが多かった印象である。
	広告代理店(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・遊戯関係の新規オープンに伴う販売促進広告は受注したが、多くの取引先は広告費削減傾向が続いており、大きな変化はない。
	公認会計士	取引先の様子	・各関与先の決算書、試算表等を見ると、ホテル業は改善しているが、その他の業種には変化がない。こしばらくは景気の変動はない。
	農林水産業(職 員)	取引先の様子	・卸売市場は低調な荷動きが続いており、4月は数量が減少したにもかかわらず価格への反映が鈍い。一方、会員農協は3月期決算が多く、マイナス金利の影響により金融事業の利益が減少している。また、平成30年4月新採活動は、一時募集への応募状況が計画を下回り、地方にも労働力不足の影響がうかがえる。
	化学工業(所 長)	受注量や販売量 の動き	・製品価格が下落し、包装材に悪い影響が出てきている。
	通信業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・テレビCMの受注が伸びない。
x	-	-	-

雇用 関連 (四国)		-	-	-
		人材派遣会社 (営業)	求職者数の動き	・就職活動が3月に解禁され、来年度新卒採用に向けた合同面接会などのイベント参加者が例年よりも増えている。その背景には、求人側の採用人数の枠が増えている影響もある。
		人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・これまで派遣サービスを利用していた企業から、人材紹介や紹介予定派遣の依頼が増えた。
		求人情報誌(営業)	求人数の動き	・各社とも人材難が続き、中途採用の求人数が増加傾向にあるが、それに対する解決策を見い出せていない。
		新聞社[求人広告] (担当者)	それ以外	・営業をしていても新しい案件が少ない。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・過去最高の求人倍率を記録したが、バブル期に見られたような売手市場による好条件での奪い合いは全く無い。数少ない好条件の求人に応募者が集中している。
		民間職業紹介機関(所長)	雇用形態の様子	・最近、サービス業を中心に企業訪問を行っているが、ハロ-ワーク等に求人票を出しても応募が全く無いという声をよく耳にする。特に、ホテル・旅館等において深刻な人手不足感がある。
		学校[大学] (就職担当)	それ以外	・株価の変動要因がない。
		人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・求人数は大型店出店などで増加しているが、求職者が追いつかない。時給の増加傾向がみられ、激戦となっている。派遣業は利益が圧迫されており、景気は悪くなってる。
		職業安定所(職員)	それ以外	・3月の有効求人倍率は1.45倍で、3か月前より0.07ポイント低下している。
	x	-	-	-